

千代田化工建設株式会社

オフショア・アップストリーム事業

当社は本年3月にシンガポールのエズラ社と共同でオフショア・サブシー設備の設計・調達・建設・据付（いわゆる EPCI）を行う合弁会社EMAS CHIYODA Subseaを設立致しました。現在同社では、右のイラストに記載されているプロジェクト遂行用の作業船9隻を運航しており、海底配管・ケーブルの敷設、プラットフォーム等の海上構造物の据え付け、FPSO等の浮体構造物の係留工事等を請負うことができます。

EMAS CHIYODA Subseaの設立により、子会社である英国のコンサルティング会社Xodus社と併せてサブシー（海中・海底）における石油・ガス田開発の計画・コンセプトの策定から設計・調達・建設・据付(EPCI)、更にはLife Of Fieldと呼ばれるメンテナンス、廃棄(デコミッションング)に至る一貫したサービスを提供できる体制が整いました。昨今の原油価格低迷の影響により、エネルギー関連の投資計画は低調ですが、中長期的にサブシーを含む石油・ガス田開発は今後益々増えていく方向であることは間違いありません。当社として、同分



EMAS CHIYODA Subseaの所有する作業船

野を今後の成長の柱の一つに据えると共に、日本政府が目指している「海洋産業の振興、及び国際協力強化」に貢献し、ひいては日本のエネルギーセキュリティ確保の一助となるよう邁進して参ります。